

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.12 奈良北支部
(バンビーナの会)

● あゆみ

2003年に奈良市の保健師さんたちのご協力によりダウン症のある乳幼児の親の会「バンビーナ21」が発足。期せずして、大阪支部の呼びかけでJDS全国大会の実行委員会に参加する機会を得て、2009年8月に奈良市に誕生したのが、「奈良北支部」です。最初は準支部のつもりが、一気に支部となり、生活圏の近い地域の在住者も所属。2015年度をもってバンビーナ21は解散し、奈良北支部に移行しました。

● 活動

基本は、毎月開催の「茶話会」。一人ではないことに勇気をもらい、その力を後輩にバトンタッチしていく形ができつつあります。主に乳幼児部の会員を、少し前を歩く先輩組がサポートします。最近では、特別会員の医師や会員の繋がりでも専門の支援者がボランティアで参加して下さるように

なり感謝しています。

そして、啓発事業の核となっているのは今年3月に8回目を迎えた「公開講演会」です。バンビーナ21から数えると通算14回となり、今や3月の定例事業になっています。特に2012年開催の奈良県中央善意銀行助成「～言葉が生まれる時～ 岩元綾・昭雄 特別講演会」には、300名を超える参加があり、会員の特技を発見する良い機会になりました。

その後、自主的に勉強を重ねた母親が手作り教材の算数教室をスタート。ヘルマンハープの指導者や障害福祉・介護関係施設で働く母親も誕生。熱心なイクメンも増加中。まさに、子育てを通じた親育ちの会です。作業所見学、おやじの会、ママランチと、そのときに活動できる人が世話役を担当します。無理のないシンプルな運営を心掛け、身近なセーフティーネットの役割を担っています。

● 支部長より



平井 万里子

支部前身の親の会発足時に代表となり、ひとり息子が9歳のときに奈良北支部を設立。何事も至りませんが、乳幼児から成人期、親亡き後まで、他人事と思わず、当事者同士が心を繋ぐ会が存在し続けることを願っています。平安の僧・源信曰く「我今無所帰」（帰る場所、居場所のないことが地獄という意味）。この会が、安心して「ただいま」と集える場所となりますように！

- ◆ 支部長：平井 万里子
- ◆ 支部会員：正会員 55 名と特別会員 9 名
- ◆ 設立：2009 年 8 月 1 日
- ◆ ご本人の年齢：0 歳～ 35 歳
- ◆ 対象地域：主に奈良県北部周辺
- ◆ 連絡先：

bambina2009_0801@yahoo.co.jp



第8回公開講演会の講師、大阪大谷大学の小田浩伸教授を囲んで